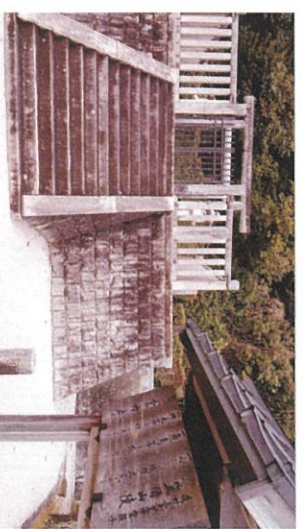


笠間・心境・安田・  
雨師・篠楽・白樺台・  
下井足・萩の原・  
萩乃里・上井足・足立

# 大王地区めぐりガイドマップ

■発行/大王地区まちづくり協議会 (2019年5月)

## 1 新陽明門院笠間山陵



所在地/榛原笠間

後村上天皇の中宮、新陽明門院 顯子あきこの御陵。顯子は南朝の重臣北畠親房の姫君。後村上天皇は顯子との間に坊雲と憲子内親王をもうけた。顯子と坊雲は世を避け陽雲寺雲上庵に隠棲し、正平14年(1359)27歳で没したと伝わる。

## 5 丹生神社



所在地/榛原雨師

岳山の中腹にあり本殿は春日造り。祭神は高麗神たかゐりのかみで止雨祈雨の水神。例祭は10月。社地は『日本書紀』にある「菟田ノ朝原」と伝わる。神武東遷の際ここで重要な儀式が行われ、以降神武天皇は敵を次々と滅ぼし、最後は橿原宮で即位する。

## 9 獺路の桜



所在地/榛原篠楽

飛鳥・榛原の時代、宇陀川と芳野川の合流点あひだち 一帯の湿原は、宮廷遊猟の地かりじで「獺路の池」と呼ばれていた。この、由緒ある地を後世に伝えんと、両岸総延長1.5kmに渡り、川堤に150本を超える記念の桜を植樹し「獺路の桜」と名付けた。

## 13 八坂神社



所在地/榛原足立

足立あだちの集落のほぼ中央部に西面して鎮座する。祭神は素戔鳴命、市杵島姫命、品陀別命ほんたわけのみこと。例祭は11月3日。ここ足立は獺路の池と呼ばれた湿地帯の上流にあり、浅いので足が立つところから名付いたという。

大王地区は、東は伊勢・西は桜井・

南は宇陀・北は初瀬へと抜ける交通の要衝。古代、笠間川・宇陀川・芳野川が合流する一帯は万葉集にも歌われた「獺路の池」と呼ばれる湖沼であった。

現在、榛原西小学校(旧大王小学校)のある小高い山を大王山と言い、地区名称の由来となっている。大王地区には古き伝統を伝える神社仏閣も多く、宇陀市唯一の御陵もある。道沿いには集落ごとに地藏尊、庚申像などの石造物も祀られており、これらを探しながら歩くのも楽しみである。

## 4 談山神社



所在地/榛原安田

古墳のように見える、こんもりした森の中に鎮座している社殿の建築様式は、春日造り。安田はかつて多武峯寺領荘園たうのみねであり、多武峯談山神社とは深い関係の神社である。祭神は多武峯と同じく藤原鎌足。例祭は10月。

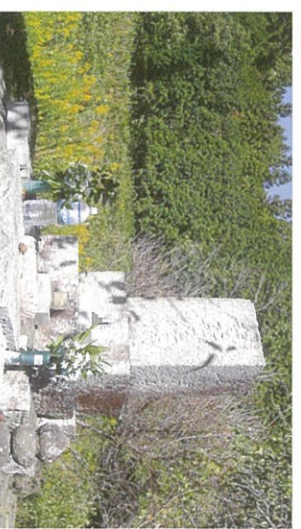
## 8 極楽寺



所在地/榛原篠楽

急な坂を上ってゆくとお堂と万葉歌碑がある。かつては大きな伽藍を誇った宇陀地方きつての古刹。本尊は阿弥陀如来坐像。平安時代の作と推定され宇陀市指定文化財。歌碑に書かれた歌は、万葉集で獺路の池を詠み込んだもの。

## 12 吉光塚



所在地/榛原上井足

少し上った田んぼの中に丸い塚があり、「吉光尼御塚」とある。吉光は親鸞聖人の生母。親鸞が越後に流罪となった際、吉光は迫害を恐れて向淵村に逃れ、3年後、ここ上井足村に移り、4年間を吉光庵で過ごし72歳の生涯を終えたとされる。

## 3 櫻實神社



所在地/榛原笠間

県道横の小さな丘の上にあり、長い石段をのぼると春日造りの社殿が三社並び、本殿の板壁には色鮮やかな龍と虎が描かれている。祭神は大宮能売神、境内社の素戔鳴命すさのおのみこと神社には素戔鳴命、水分神社すいぶんのかみには国水分神を祀る。例祭は10月10日。

## 7 庚申さん(青面金剛像)



所在地/榛原篠楽

享保十三年(1728)作の青面金剛像。この庚申さんはとてもユニークな彫りで石仏フアンに知られている。四年に一度閏年に庚申行事があり、庚申講の人が集まって般若心経を唱えたあと、直会でお菓子などをいただき談笑する。

## 11 三十八神社



所在地/榛原上井足

芳野川沿いに鎮座し、川を挟んで向かい側に遷拝所(二本杉)が設けられている。主祭神は弥都波能売命で水を司る五穀豊穡の神様。社伝には、平安時代後期に創建されたと伝えられており、村の鎮守として今に至る。例大祭は11月3日。

## 2 陽雲寺(鳳凰山陽雲禪寺)



所在地/榛原笠間

曹洞宗の寺で平安時代創建と伝えられる。本尊の如意輪観音菩薩坐像は平安前期彫刻の逸品として貴重なもの(奈良県指定文化財)。中世にはかなりの寺勢があったようで、伝わる「大般若経六百巻」は宇陀市指定文化財となっている。

## 6 白山神社



所在地/榛原篠楽

祭神は白山比咩大神、伊邪那岐命、伊邪那美命なみののみかみで平安時代に石川県の白山比咩神社より勧請されたと伝わる。社殿は神明造り。石灯笼には寛文8年(1668)の銘がある。例祭は10月17日。境内には歴史を感じさせる大イチョウがある。

## 10 宇太水分神社



所在地/榛原下井足

芳野川沿いに三つある水分神社の中の下社。本殿は元は春日造であったが、現在は神明造。境内は高木に囲まれ神々しい参道が続く。祭神は天水分神、国水まゐりのかみ分神、天兒屋根命、品陀別命。毎年10月21日に近い日曜日に例大祭が行われる。